

# R6社会実験(案)の概要

---

# 概要

## ① R6社会実験の趣旨



道路空間再整備のベース案である  
**「2車線化・自転車空間設置」**による  
社会実験

交通WG

道路空間再整備時の交通状況の確認

利活用WG

ゾーンごとの活用のあり方を検討

課題・効果の検証・調査など

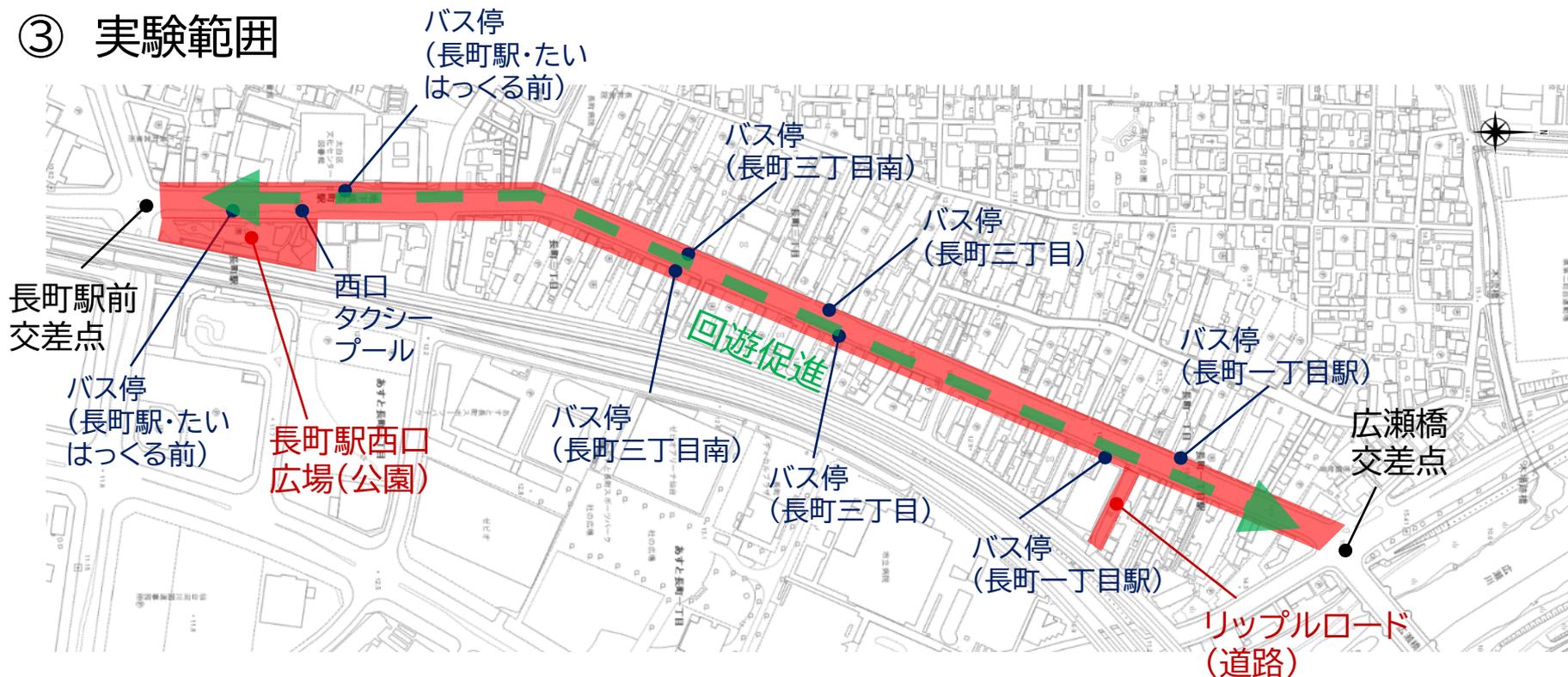
今後の議論に反映

# 概要

## ② 日程

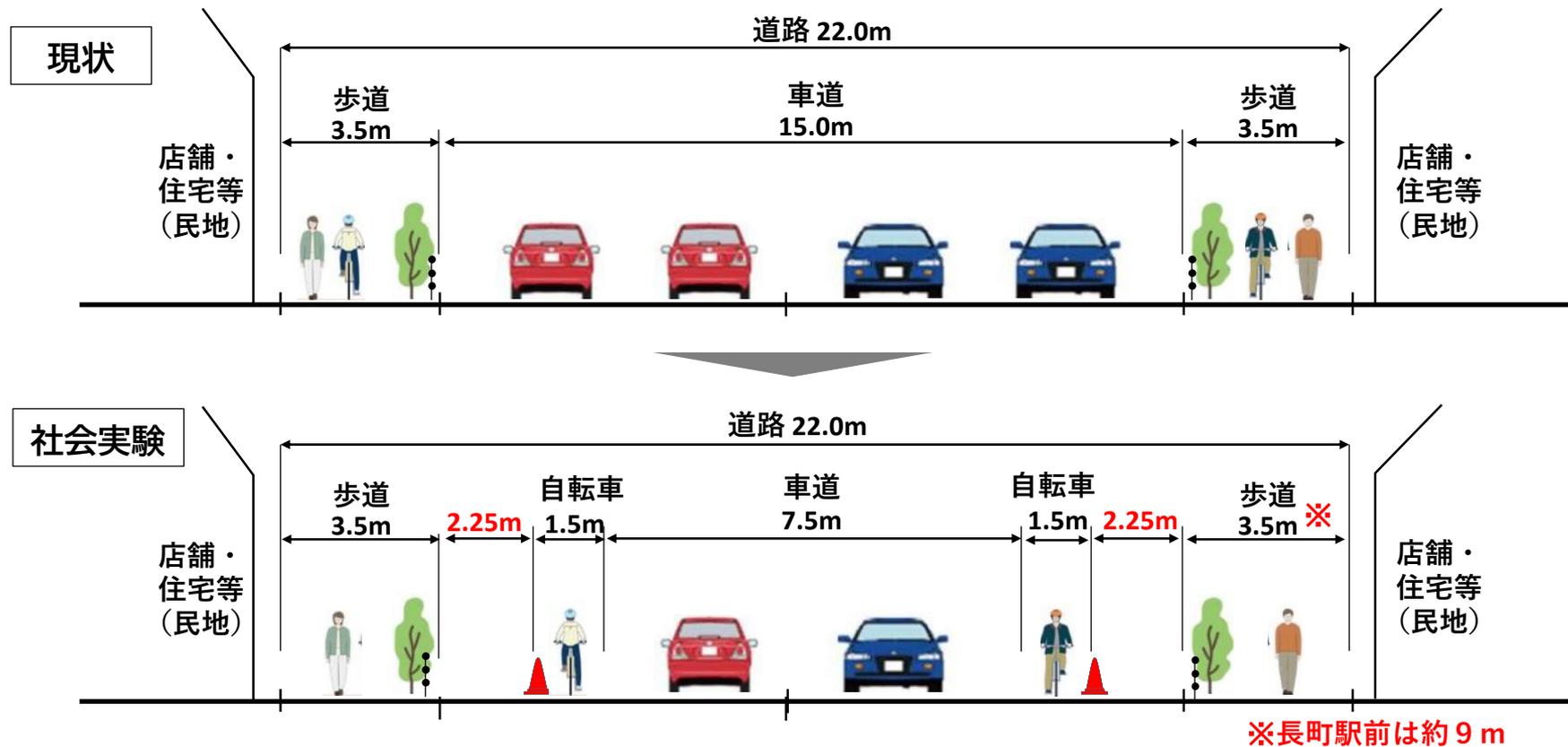
- 準備 : 実験開始日前日22時から ※完了次第規制開始
- 実験 : 11月29日(金)~12月1日(日)
- 撤去 : 実験最終日22時から

## ③ 実験範囲



# 概要

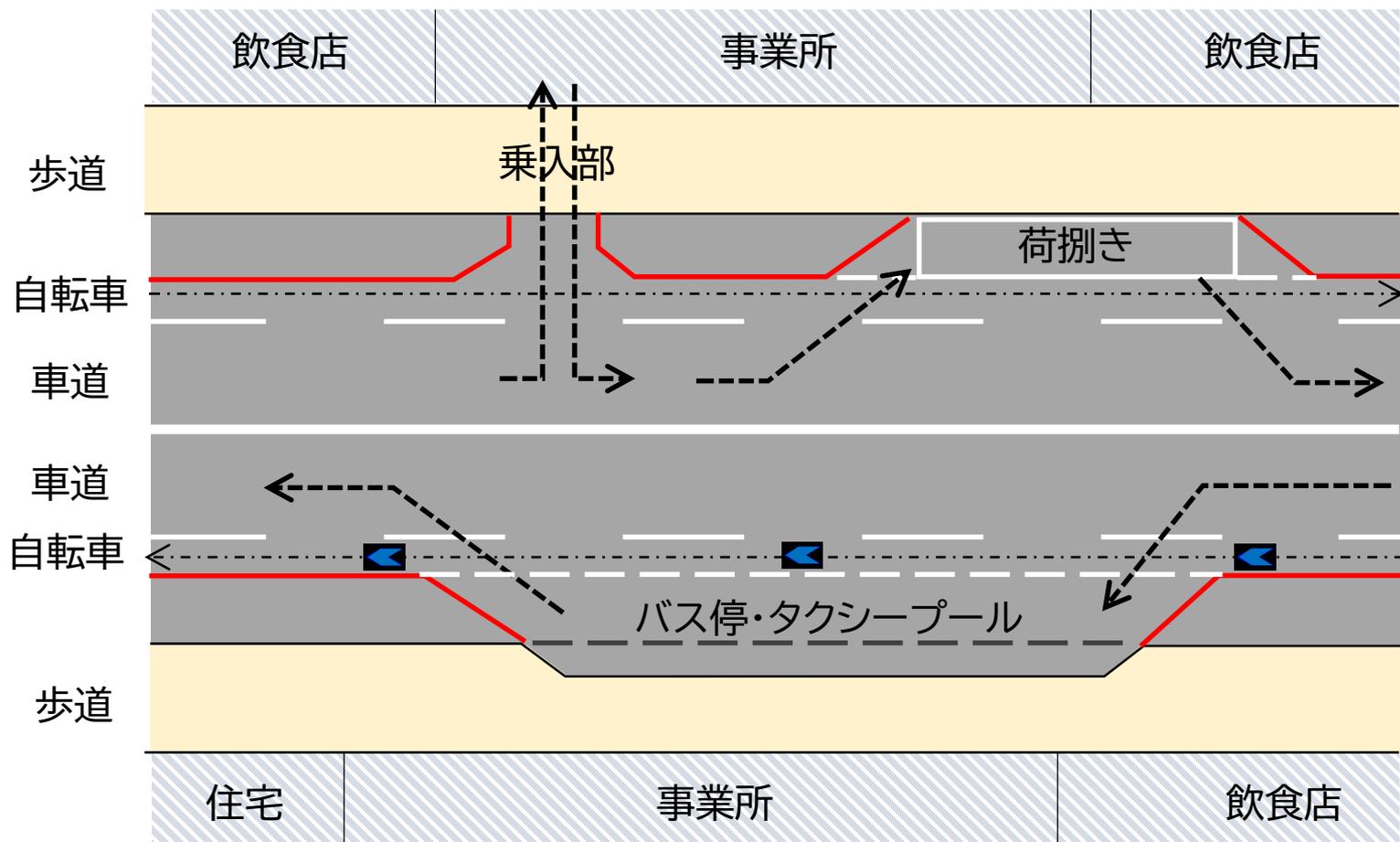
## ④ 断面図(標準部)



- ※車道は現状の区画線の変更は行わず、中央の2車線を走行空間とする。
- ※交差点部の右折レーンは現状のままとする。
- ※歩道上にある植栽や地上器、ガードパイプ等の移設は行わない。
- ※バス停・タクシープール部分は現状のままとする。

# 概要

## ⑤ 平面図(例)

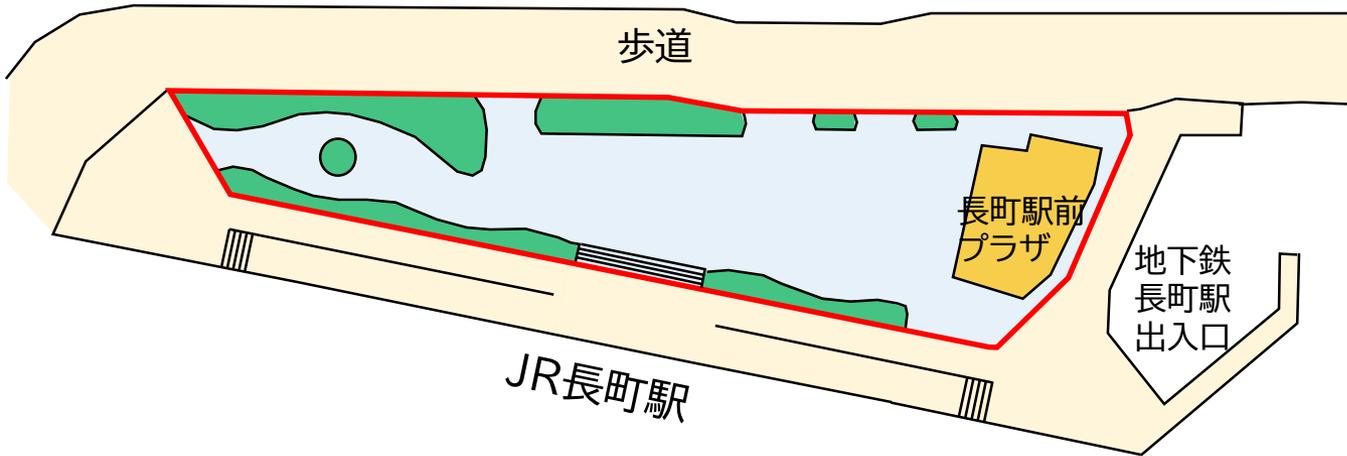


— カラーコーン 車道規制箇所  
-----> 自転車の動線  
-----> 車両の動線

- ※24時間上記の規制を行うこととし、時間帯による運用の変更は行わない。
- ※警備員・誘導員は適宜配置し、規制材の点検・補修、バス停部の巡回・案内等を行う。
- ※荷捌きスペース等は適宜配置するとともに、案内看板を設置し、周知に努める。
- ※住宅・店舗等の既存の出入口(乗入部)は現状のまま規制を行わない。

# 利活用空間のイメージ

## ① 西口広場



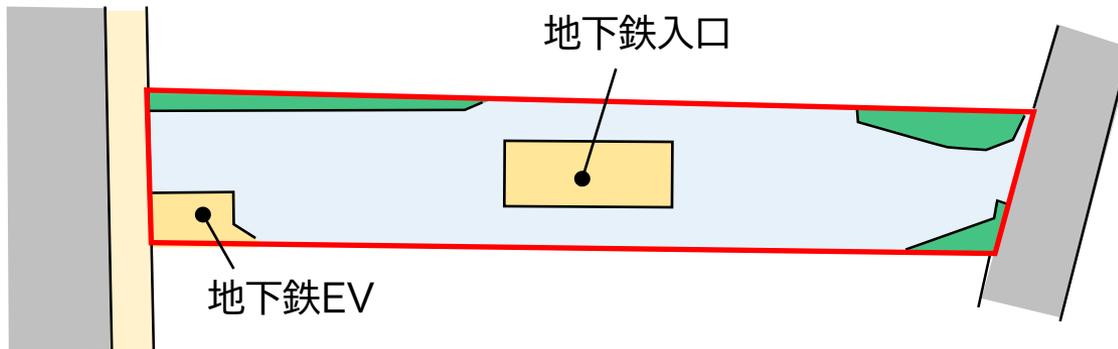
社会実験の情報発信  
(事業PR・チラシの配布等)



滞在性空間の設置  
(芝生・ベンチ・テーブル等)



## ② リップルロード

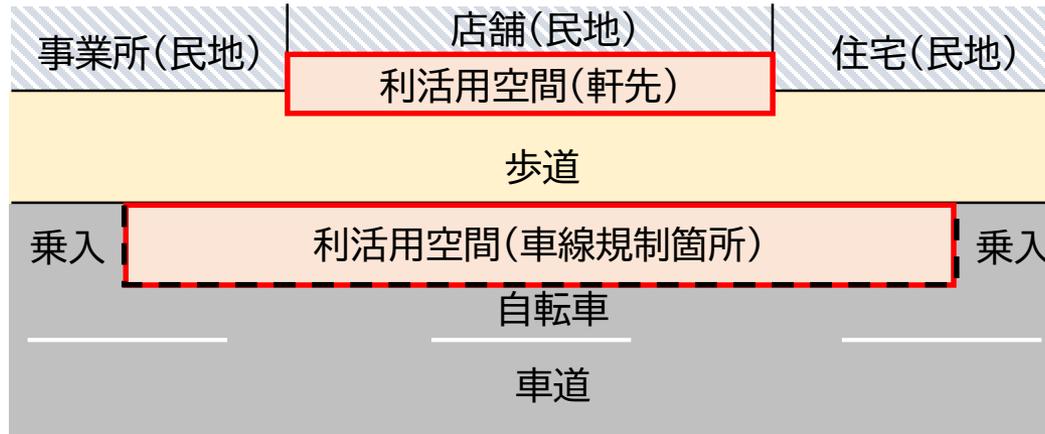


飲食店舗等の設置  
(仮設テント・キッチンカー等)



# 利活用空間のイメージ

## ③ 道路空間の活用



滞在性空間の設置  
(芝生・ベンチ・テーブル等)



豊島区グリーン大通り

(出典：国土交通省ウォークブルポータルサイト) 2021年大規模社会実験の様子

飲食等の販売  
(キッチンカー・屋台等)



定禅寺通

沿道店舗の飲食スペース  
(テーブル・椅子等)



国分町2号線(稻荷小路)

2020年イナトラほろ酔い縁日の様子

※歩道と車道の間にあるガードパイプは部分的であれば撤去可能

# 検証・調査内容(交通)

※下記は現時点での想定。

## 検証内容

- ・歩行者、自転車、自動車等の安全な動線分離
  - ・歩行者の安全性
  - ・自転車の交通量・走行状況
  - ・自転車が沿道店舗に立ち寄る際の歩行者との錯綜
  - ・バスと自転車が交差する部分の安全性
  - ・自転車通行帯部分の駐車車両の発生状況
  - ・荷捌き箇所の妥当性(箇所数・位置)
  - ・荷捌きの安全性
- など

## 検証内容

- ・本路線の交通量の変化  
(事前と事後、実験開始と終了)
  - ・交通渋滞の発生状況
  - ・周辺道路の交通容量の把握
- など

※R6社会実験については、事前にできる限りの周知等を行うが、実験期間が短期間であること等を踏まえると交通量は安定しないと考えられるため、交通渋滞の状況等についてはR7以降の社会実験等も踏まえて評価していく。

## 調査内容

### カメラ調査

- 調査日 : 社会実験前の平日・休日  
社会実験中の平日・休日
- 時間 : 12時間
- 調査概要 : 照明灯などに定点カメラ  
(2か所程度)を設置
- 分析 : 録画した映像データより  
目視で確認

## 調査内容

### 交差点交通量調査

- 調査日 : 社会実験前の平日・休日  
社会実験中の平日・休日
- 時間 : 12時間
- 調査概要 : 人によるカウント調査  
信号現示調査や渋滞長等の  
計測も行う
- 分析 : 交差点解析により、交差点  
改良の必要性を確認

# 確認・調査内容(利活用)

※下記は現時点での想定。

## 確認内容

- ・人流の回遊性の変化
- ・滞在者・通行者の行動特性
- ・滞在時間の調査
- ・歩行者・自転車の交通量

など

## 調査内容

### 人流調査

- 調査日 : 社会実験中の3日間  
(通常時はR5に調査済み)
- 調査概要 : 歩行者・自転車交通量を調査、来訪者の属性情報による移動・滞留特性を調査
- 分析 : 上記データについて、ODマップを用いて移動・滞留特性を調査・分析

## 確認内容

- ・社会実験の取組み評価
- ・社会実験の認知方法
- ・社会実験時の来訪手段・目的
- ・自転車道設置による安全性の変化
- ・道路(周辺含む)の混雑による影響
- ・バス・タクシー乗り場の安全性
- ・来訪者の活動・行動の種類
- ・コンテンツの出店・参加理由

など

## 調査内容

### アンケート調査

- 調査日 : 社会実験中の3日間
- 調査概要 : 通行者・来訪者・出店者・沿道店舗等へのインタビュー又はアンケート用紙の配布(WEB)
- 分析 : アンケート結果を基に社会実験の有効性等を分析

# 広報・周知方法

※下記は現時点での想定。

媒体	概要
周知看板	周辺道路に設置
市政だより、ホームページ	仙台市政だより、仙台市ホームページに掲載
メディア、SNS	ラジオ放送、仙台市LINE・仙台市Facebook等に投稿
チラシ・ポスター	実験箇所周辺に配架・掲示、町内会等を通じた周知
道路情報板	電光掲示板にお知らせを掲載

## 周知看板(案)



\\ NAGAMACHI //  
**STREET**  
**ACTION**  
==== 2024 ====

長町道路空間社会実験



# スケジュール

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年 1月	2月	3月
社会実験			内容検討		(内容確定)					
						周知期間		R6社会実験の検証		R7の方針検討
						実験				
検討会	検討会				第2回 ● (10/17)					第3回
	利活用WG	第1回 ● (7/24)		第2回 ● (9/24)				第3回・第4回		
	交通WG	第1回 ● (7/17)		第2回 ● (9/6)	第3回 ● (10/10)			第4回・第5回		